



店主の川口まどかさん



こだわりのスペシャルティコーヒー



コーヒーとホットドッグのセット



持続化を活用して作成した看板



現地農園主のご家族と



豚豚のホットドッグ

## 「ありのままのわたし」にもどれる場所を

### caféむく ~上野村商工会~

caféむくは群馬県最南端の上野村、道の駅真向かいの高台にあります。日当たりの良いテラス席で四季折々の豊かな自然に囲まれながらスペシャルティコーヒーを味わう。ここでは日常を離れゆっくりと五感を解放するひとときを過ごせます。

上野村唯一のcaféを営む川口さんは2022年、東京から移住。キャリアコンサルタントとして大学生の就職支援や企業研修に従事していました。環境変化に不安があるなか、村の方々の「ありのまま受け入れる姿勢」に大きく支えられてきました。笑顔で声を掛け、優しく見守り、時に手を差し伸べてくれる、そんな村の方々の在り方。

より村の皆さんとつながりたい、ちょっと立ち寄ってほっとできる場をつくりたい、そんな想いを抱いていたころ、村の木育施設「森っこ」リニューアルタイミングが重なり、施設内キッ

ンで2024年4月caféむくをオープンしました。

caféのこだわりメニューはスペシャルティコーヒー。ホンジュラスのマルカラ地方で丁寧に栽培されているオーガニックコーヒーをはじめて口にしたことは、これまでのコーヒーの概念が180度変わる経験でした。川口さんは現地農園主とも対面、その人柄にも魅了され、上野村の方々にもスペシャルティコーヒーを知り、味わってもらいたいとの想いを強くしました。

オープンにあたっては上野村商工会の全面的なサポートをいただきながら持続化補助金を申請、コーヒー関連機材や食器、看板制作に活用することができました。



HP ▶



Instagram ▶

### CONTENTS

caféむく 上野村商工会	…1	持続化補助金活用事例	…5
令和6年度通常総会開催、新役員名簿	…2	青年女性経営者の主張大会のご報告	…6
会長挨拶、各表彰・表彰者のご紹介	…3	能登支援報告、創業スクール案内	…7
令和6年度県青連通常総会、県女性連通常総会	…4	経営支援センター通信	…8



県連HP



県連公式LINE

お問い合わせ等 ▶▶▶

027-231-9779(代)

e-mail kenren@gcis.or.jp

群馬県商工会連合会 前橋市関根町三丁目8番地の1

発行者 石川 修司

# 連合会レポート

## 令和6年度 通常総会 開催報告

本会では、令和6年5月28日(火)、商工連会館において通常総会を開催しました。議事に先立ち、石川修司会長が次のとおり挨拶を行いました。

『新型コロナの5類移行を機に、経済活動自体には回復傾向が見られるが、地域経済を見ると依然として、物価高騰や円安、人手不足など大変厳しい状況が続いている。こうした中、43商工会と力を合わせて商工会改革として、組織強化、経営支援の充実等に力を注ぎ、特に持続化補助金では6年連続全国一の実績を挙げることができた。しかし、会員増強においては令和5年度は会員増には至らなかった。その背景には廃業が課題として根強く、10年後を考えると先行きに不安が残る。そういった意味で、今後、日本公庫を始めとした関係機関とも連携を深め、事業承継を意味ある取り組みにしなければならない。昨年11月にGメッセ群馬で開催された青年部全国大会は3,700名余りの来場で



石川会長



武井議長

成功裏に開催できたことを報告するとともに、各商工会長にも協力いただいたことに感謝申し上げたい。さらに、元日に発生した能登半島地震に対しては全国連の災害助け合い基金から被災4県に対し約3億円の拠出、および群馬県連からも250万円余の義援金送金に加え、県連職員の現地派遣など、出来る支援を継続していきたい。』

通常総会では、武井副会長(安中市商工会長)が議長となり、令和5年度事業報告、一般会計、特別会計、商工貯蓄共済事業関連議案のほか、定款一部改正議案、規約一部改正議案、任期満了に伴う役員選任議案が上程され、議案全てが全会一致で可決されました。



会議の様子

### 商工会連合会 新役員 (任期：令和6年6月1日～令和9年5月31日)

役職	氏名	商工会	付記
会長	石川 修司	前橋東部	
副会長	武井 宏	安中市	
副会長	金子 敬	桐生市黒保根	
副会長	須田 永次	吉岡町	
副会長	関 真一	川場村	
専務理事	樋口 努	県商工連	
理事	岸 善一郎	高崎市群馬	
理事	狩野 亮一	富士見	
理事	高野 広	千代田町	
理事	渡辺 栄志	嬭恋村	
理事	林 直男	藤岡市鬼石	
理事	茂木 透	大泉町	
理事	松嶋 章治	榛東村	

役職	氏名	商工会	付記
理事	竹内 猶則	長野原町	
理事	大沢 啓一	群馬伊勢崎	
理事	木村 茂光	みどり市	
理事	追川 徳信	高崎市倉渕	新任
理事	黒澤 建広	神流町	新任
理事	高橋 正章	安中市松井田	新任
理事	平形 富二夫	高山村	新任
理事	田子 公寛	県青連	
理事	飯野 晶子	県女性連	
監事	丸山 勝彦	富岡市妙義	新任
監事	小池 敏郎	板倉町	新任
監事	杉木 寿一	みなかみ町	新任

## 石川会長就任あいさつ

県連会長に就任し、2期6年が経過する中、「会員第一」という思いで運営に取り組んでまいりました。小規模事業者を取り巻く環境が厳しくなる中、会員支援のあり方も変わらなければならず、改めて責任の重さを感じております。

6月以降の新体制においても、役員と連携を図り、役職員一丸となって会長としての責務を果たすべく邁進いたしますので、ご協力をお願いいたします。

また、今回退任されました役員及び商工会長の方々には、商工会の発展にご尽力をいただいた事に感謝申し上げます。



石川会長

## 総会開催前に県連会長表彰が行われました。

### 県連会長表彰(抜粋)

#### ① 会員増強表彰

##### ① 純増率

- 第1位 上野村商工会 (107.84%)
- 第2位 桐生市黒保根商工会 (103.06%)
- 第3位 榛東村商工会 (102.92%)

##### ② 純増数

- 第1位 桐生市新里商工会 (10人増)  
大泉町商工会 (10人増)
- 第3位 榛東村商工会 (8人増)  
甘楽町商工会 (8人増)

#### ② 経営計画策定数ポイント表彰

(経営指導員1人当たりの獲得ポイント)

- 第1位 高崎市群馬商工会 (86.0ポイント)
- 第2位 みなかみ町商工会 (20.0ポイント)
- 第3位 安中市商工会 (18.0ポイント)  
富岡市妙義商工会 (18.0ポイント)

#### ③ 持続化補助金表彰

(採択件数10件以上)

- 第1位 板垣 翔 (高崎市群馬) 50件
- 第2位 長野 有里 (高崎市群馬) 42件
- 第3位 登坂 経二 (みなかみ町) 23件

## 受章(賞)者御祝

商工会関係者で、国・県から受章(賞)された方をご紹介します。  
栄誉ある受章(賞)誠におめでとうございます。

令和5年秋  
(2名)

旭日単光章 松島 孝三 様 (元県連監事、元桐生市新里商工会長)  
県功労者表彰 石川 修司 様 (県連会長、前橋東部商工会長)

令和6年春  
(3名)

旭日単光章 都筑 覚実 様 (元県連副会長、中之条町商工会長)  
藍綬褒章 飯野 晶子 様 (県女性連会長、しぶかわ商工会女性部長)  
県総合表彰 関 真一 様 (県連副会長、川場村商工会長)

## ◀ 令和6年度 県商工会青年部連合会通常総会・リーダー研修会開催 ▶

群馬県商工会青年部連合会(田子公寛会長)は、令和6年度通常総会を5月14日(火)に商工連会館で開催しました。総会では、令和5年度事業報告、収支決算及び令和6年度事業計画、収支予算等の議案が審議され、全議案が原案どおり可決されました。今年度の主な事業計画には、部長会議や各種研修会の開催、部員増強運動の促進などが盛り込まれました。

総会終了後、各種表彰が行われ、部員増強運動達成表彰では、6商工会青年部が表彰されました。

また、総会後に開催された商工会青年部リーダー研修会では、関東ブロック商工会青年部連絡協議会会長の小林信作氏を講師に迎え、「インパルスと、ともに成長し続けるには? 『人となり』」をテーマに、小林会長の青年部活動や自身の事業活動を通じての心構えや経験から、商工会青年部はいかにして地域に貢献し、地域の事業者として次世代を担う者として地域創生施策の中で託された役割であるか。を認識し、未来のリーダーとしての意識・姿勢などについて学びました。



総会全体



県青連会長挨拶



リーダー研修会

## ◀ 令和6年度 県商工会女性部連合会通常総会・リーダー研修会開催報告 ▶

群馬県商工会女性部連合会(飯野晶子会長)は、令和6年度通常総会を5月10日(金)に商工連会館で開催しました。総会は、令和5年度事業報告、収支決算及び令和6年度事業計画、収支予算等の議案が審議され、全議案が原案どおり可決されました。

また、任期満了に伴う役員選任では、引き続き飯野晶子氏(しぶかわ商工会)が会長に選任されました。新たに選任された役員は以下のとおりです。

(敬称略)

No.	役職	氏名	所属商工会	選出ブロック	No.	役職	氏名	所属商工会	選出ブロック
1	会長	飯野 晶子	しぶかわ	北毛	9	理事	大野 純子	上野村	西南
2	副会長	鈴木由香里	高崎市吉井	西部	10	理事	東間 英子	富岡市妙義	西南
3	副会長	上原 安子	東吾妻町	吾妻	11	理事	小林みつ江	長野原町	吾妻
4	副会長	須藤美由貴	みなかみ町	利根沼田	12	理事	梅澤 美樹	片品村	利根沼田
5	理事	須田ケイ子	富士見	中部	13	理事	新井みゆき	みどり市	桐生みどり
6	理事	阿久澤敏子	前橋東部	中部	14	理事	横川 久代	大泉町	東部
7	理事	小林 厚子	榛東村	北毛	15	監事	松島 和代	桐生市新里	桐生みどり
8	理事	中島 勝美	安中市松井田	西部	16	監事	杉山 宮子	邑楽町	東部

総会終了後、女性部員増強運動表彰が行われ、8商工会女性部が表彰されました。また、同日に開催された商工会女性部リーダー研修会では、グローバルマーケティング株式会社の藤井俊介氏を講師に迎え、「簡単に使える生成AI活用」をテーマに、生成AIの概要と基本的な活用方法を学ぶことが出来ました。



リーダー研修会



飯野晶子会長

# 持続化補助金活用事例

## 新店開業と米粉スイーツ専門店への転換で集客向上による売上拡大

palapaLapOna 代表 **吉澤実紀**さん(榛東村商工会 清水指導員)

当店は2022年6月に吉岡町にて「パラパラポナ」として開店しました。当店は近くにある母屋の厨房を利用し、可愛い焼き菓子や保存料を一切使用していないパン、米粉を使ったグラノーラやビスコッティを製造し販売していましたが、商品の種類が多岐にわたり、コンセプトが曖昧になり、製造と販売の効率も悪くなっていました。そこで新店舗を開設し、米粉スイーツ専門店として業種転換を計画しました。

### 事業内容及び効果

持続化補助金を活用して、榛東村の自宅車庫を新店舗に改装し、米粉スイーツ専門店「米粉の焼き菓子pOna」として再オープンしました。新店舗は製造拠点から近く、出来立て商品を冷蔵ショーケースで陳列し、品揃えも広がり、店内はおしゃれに落ち着いた雰囲気となりました。来店したお客様は、ゆっくりと店内で商品を選べるようになり、多くのお客様から喜びの声をいただきました。

また、米粉のケーキとお菓子に特化した店になったことで、特徴ある店になり他店との大きな差別化要素に繋がりました。

その結果、今まで以上に多くのお客様にご購入いただけるようになりました。

### 事業者の声

持続化補助金を活用して新店舗をオープンしたことで、「お客様目線のお店」を考える良いきっかけになりました。また機会があれば持続化補助金を利用していきたいです。



店内の様子



自慢の商品



当店の従業員

## 四万温泉柏屋カフェ コンベクションオープン導入で製造能力の向上を実現

有限会社柏屋 代表 **柏原益夫**さん(中之条町商工会 藺田指導員)

当社は、1950年に四万温泉にて衣料品として創業し、現在では、中之条町の四万温泉内において四万温泉柏屋旅館、四万温泉柏屋カフェ、シマテラスの3つの事業所を有しています。

その中でも柏屋カフェは、四万温泉の温泉街に位置し、昭和初期の建物を改装したノスタルジックな内外装の店舗で、手作りスイーツ、本格スペシャルティコーヒー、ランチメニューなどを取り揃えており、田舎の温泉で本格的なコーヒーが楽しめることと喜んでいただいております。その中でも「四万温泉焼きプリン」は当店の大人気商品ですが、1日の生産量が少なく、週末を中心に欠品状態になる日が多く、製造能力の向上が大きな課題でした。

### 事業内容及び効果

持続化補助金を活用して、コンベクションオープンを導入し「四万温泉焼きプリン」の製造能力の向上を目指しました。その結果、「四万温泉焼きプリン」の製造能力は大きく向上し、柏屋カフェ店内のほかに新たに柏屋旅館でも販売ができるようになりました。そして、多くのお客様から「とても美味しい」「新しいお土産としてお勧めします」との声を頂戴し、販売個数は9月・10月の2カ月で去年同期比3.7倍という大幅増加を達成しました。

### 事業者の声

持続化補助金を活用して設備を導入したことで製造能力が大幅に向上し、将来的には道の駅などでの委託販売も視野に入れられる良い機会になりました。今後は梱包形態を工夫し、オンラインでの販売にもチャレンジしていきたいと思っております。



柏屋カフェ



四万温泉焼きプリン



柏屋旅館

# 令和6年度商工会青年部女性部合同研修会 第54回商工会青年女性経営者の主張大会開催報告

「商工会青年女性経営者の主張大会」が6月5日(水)昌賢学園まえばしホールにて開催されました。この主張大会は青年部・女性部活動を発表することにより、さらなる活動の充実と向上を目的としております。発表者は10分間の持ち時間で、日々の青年部・女性部の内容やそれを通して得られた経験、苦難、地域振興にかける思いを発表しました。

主張大会の結果は、1位に濱田守理さん(高崎市新町商工会青年部)、2位には関口達也さん(千代田町商工会青年部)、3位には須田哲弥さん(群馬伊勢崎商工会青年部)、平形玉緒さん(高山村商工会女性部)がそれぞれ入賞されました。

1位となった濱田守理さんは、「青年部の一員として視覚障害をもつ自分に何ができるのか?多様性を実現する商工会」をテーマに、青年部活動や自らの事業を通して感じた「多様性の大切さ」について発表し、「同じような境遇の人に勇気を与えたい」と話しました。

青年部を代表して濱田守理さんが、女性部を代表して平形玉緒さんが、群馬県代表として関東ブロック大会に出場します。青年部は9月19日(木)に長野県長野市で、女性部は7月9日(火)に栃木県宇都宮市で開催されます。



左から平形 玉緒さん、濱田守理さん、関口 達也さん、須田 哲弥さん

## 主張大会発表者は以下のとおり(発表順・敬称略)

① 平形 玉緒 高山村商工会女性部	⑤ 田沼 亮介 桐生市黒保根商工会青年部	⑨ 岩本 哲 藤岡市鬼石商工会青年部
② 濱田 守理 高崎市新町商工会青年部	⑥ 関口 達也 千代田町商工会青年部	⑩ 萩原 幸世 藤岡市鬼石商工会女性部
③ 遠田 一也 中之条町商工会青年部	⑦ 荻原マサエ 玉村町商工会女性部	⑪ 小林 勉 沼田市東部商工会青年部
④ 鈴木由香里 高崎市吉井商工会女性部	⑧ 須田 哲弥 群馬伊勢崎商工会青年部	⑫ 古澤 聖哉 榛東村商工会青年部

また、主張大会終了後にはホット・コミュニケーションズ 代表 茂木ゆういち氏を講師に迎え、「スポーツ漫画の描き方から時代を読む～チームワークと成果の関係～」と題し青年部女性部合同研修会を開催しました。昭和から平成、令和へとスポーツ漫画の描き方の変遷から時代にあったより良いチームワークを醸成する。という内容の講演がなされ、各部員の今後の事業活動において大きな学びとなりました。

## 安心してください！ 商工会の福祉共済 ついてますよ...

# 熱中症 の補償\*



傷害プラン月額 2,000 円コースの熱中症補償内容

- 死亡共済金：400 万円
- 後遺症傷害共済金：400 万円～4 万円
- 手術共済金：10・5・2.5 万円
- 入院共済金：4,000 円（1 日目から）
- 通院共済金：1,500 円（3 日目から）

\* 傷害プランに自動付帯  
(ライトプランを除く)

～詳しくはお近くの商工会まで～



Goopie

by GMOペパホ

## ホームページが 無料で お作りいただけます！

商工会会員の皆さま限定！

## 能登半島地震被災商工会 職員派遣報告

本会では、全国連からの要請を受け、能登半島地震による被災商工会に対して応援職員を交代で一定期間派遣しています。6月には派遣第3弾として、本会経営支援課の堀川経営指導員が輪島市にある門前町商工会に赴き、被災事業者向けの補助金申請支援等の業務にあたりました。能登半島地震による地域の状況や商工会の現状についてレポートします。

商工会周辺の商店街には、大きく傾きいつ倒壊してもおかしくない家屋や店舗が並び、ところどころにブルーシートがかけられ、「危険」「要注意」と書かれた紙が貼られたままの建物が数多く見かけられました。1階部分が完全に潰され原型をとどめていないお宅の前で不躰とは思いつつ割れた窓からなかを窺えば、5か月前の生活の跡がそのままの状態に残されており、残念ながら、それほどまでに復興に向けた動きが進んでいない印象を受けました。

被災前には176の会員事業者が在籍していたと伺いましたが、現在営業を再開、または再開の目途が立っているのはわずか60社程度とのことで、多くの事業者が住宅や店舗・事務所・設備に少なからぬ被害を受け、仮設住宅に移った方はおよそ半数に及んでいるとのことでした。国や県でも事業再建に向けた補助金・融資制度の創設や現行制度の拡充など手を尽くしているようですが、そうした制度にもまだ手を伸ばせない事業者が大半を占めている状況でした。

商工会としては、まずは被災事業者の安否確認・状況把握に努めることが第一優先となりますが、固定電話や通常の回線は役に立たない現実を思い知らされました。風水害も含めて能登半島地震と同規模の大規模災害が我が群馬県で起きない保証はありません。LINEでもいいので、いざという時の備えとして商工会と会員との間で持続的に連絡可能な手段をなるべく早期に構築しておく必要性を強く感じました。

本会では引き続き、能登半島地震による被災商工会に対して、応援職員を派遣していく予定です。



### 今年も「ぐんま創業スクール」を開催します！

創業するために必要な基本的ノウハウと創業後の顧客獲得方法や売上アップのための極意を学ぶ「ぐんま創業スクール2024」を今年も開催します。独立・起業にご関心ある方や創業をお考えの方はこの機会に是非ご参加ください。

#### 日程

- ① 前橋会場（群馬県商工会連合会）  
10/6、10/13、10/20、10/27、11/3（全5回講座） 11/10（個別相談会）
- ② 安中会場（安中市商工会）  
11/17、11/24、12/1、12/8、12/15（全5回講座） 12/22（個別相談会）

#### 講師

綿貫 有二 先生（中小企業診断士）

#### 募集人数

各会場40名程度

募集人数を超える場合は申込書をもとに選考させていただきます。

#### 対象者

- 原則1年以内に群馬県内にて創業を検討されており、創業に関しての知識を習得したい方。
- 全5日間すべてのカリキュラムを受講いただける方。

受講料  
無料

#### お申込み

本会のホームページから申込書をダウンロードの上、メール等によりお申込みください。

▶▶▶ <https://www.gcis.or.jp/>

ご不明な点は本会またはご加入の商工会までお問い合わせください。

中小企業・小規模事業者が抱える多様化・複雑化する経営課題解決のため、広域支援センターでは専門人材を配置し、会員事業者様が抱える課題解決の支援を行っております。今回は嘱託専門指導員による経営に役立つコラム記事を掲載します。

## 助成金を活用して「働き方改革」をすすめましょう

嘱託専門指導員 田村 健

### 【働き方改革推進支援助成金】

#### ● 業種別課題対応コース

令和6年4月から時間外労働の上限規制が適用された業種（建設業、自動車運転の業務等）が、労働時間削減等に向けた環境整備に取り組むことを目的として、外部専門家によるコンサルティング、労務管理用機器等の導入等を実施し、改善の成果を上げた事業主に助成

**助成率** 3/4（事業規模30名以下かつ労働能率の増進に資する設備・機器等の経費が30万円を超える場合は4/5を助成）

**上限額** 成果目標の達成状況に基づき、最大470万円（一定要件の場合、最大480万円加算）

#### ● 労働時間短縮・年休促進支援コース

労働時間削減や、年次有給休暇の取得促進に向けた環境整備に取り組むことを目的として、外部専門家によるコンサルティング、労務管理用機器等の導入等を実施し、改善の成果を上げた事業主に対して、その経費の一部を助成

**助成率** 3/4（事業規模30名以下かつ労働能率の増進に資する設備・機器等の経費が30万円を超える場合は4/5を助成）

**上限額** 成果目標の達成状況に基づき、最大250万円（一定要件の場合、最大480万円加算）

### 【設備の導入例】

- POS装置を導入し在庫管理の負担を軽減する（小売業）
- 自動食器洗い乾燥機を導入し食器洗い作業の負担を軽減する（飲食店）

問合せ先

雇用環境・均等室  
027-896-4739

## 赤字を出さない経営のための指標

嘱託専門指導員 儘田光明

企業経営を行う際、損益分岐点という概念を念頭に置いていますか。

損益分岐点とは、売上と費用が等しくなり、利益がゼロになる売上のことです。損益分岐点を上回る売上があれば利益が出て黒字になり、下回ると赤字になります。

損益分岐点は、健全な経営に欠かせない重要な指標です。損益分岐点を知ることにより、「どれくらい売れば（どれくらい費用を抑えれば）、どれくらいの利益が出るのか」を把握できるからです。

では、損益分岐点を下げ、黒字を出せる体質にするにはどうすればよいのか。

損益分岐点を下げる方法としては、3つの方法があります。

- ① 固定費を下げる（事務所や店舗の賃料、人件費、広告宣伝費等）
- ② 変動費を下げる（原材料費、商品仕入高、外注費等）
- ③ 商品単価を上げる。限界利益率は上がり、損益分岐点は下がる。

※損益分岐点=固定費÷限界利益率 限界利益率(%)=限界利益÷売上高×100 限界利益=売上高-変動費

固定費の削減は、損益分岐点を下げる方法として最も取り組みやすく、効果の高い方法です。変動費と比べ、企業努力によって下げられる可能性が高くなります。

また、変動費の削減は、変動費を下げることによって商品やサービスの質が下がると、顧客が離れ、売上数量が減る可能性があるため注意が必要となります。

